

2020年10月20日

経済産業大臣
梶山弘志 様

2020年度メインオークション結果に関する検討要請 及び容量価値に関わる制度検討に関わる要望

2020年9月14日に実需給年度2024年に適用される容量市場の約定価格が14,137円/kWとなったことが広域機関より公表されました。諸外国の容量価格は、英国で2,830円/kW、PJMで6,412円/kW、フランスでは1,197円/kW^{*1}となっており、今回の約定価格は国際水準から見ても例を見ない高値水準であること、および新規電源投資の指標であるNETCONEから大きく上回る約定価格となっております。

※1 (一財)日本エネルギー経済研究所 平成28年度電力系統関連設備形成等調査事業(海外の容量メカニズムに関する調査報告書)

経過措置を踏まえた約定総額は1兆5,987億円にのぼり、全小売事業者の平均kWhに換算すると約2円に相当し、2024単年度の拠出だけでも、多くの小売電気事業者にとって深刻な経営へのインパクトを与えるものとなります。これら小売電気事業者の需要家である国民の負担を増加させることのないよう、今一度時間をかけて、国民への説明に足る透明性のある議論、および以下検討がなされることを希望します。

1. 経過措置かつ逆数入札を許容した電源の入札金額が、約定価格となる結果となり、結果的に経過措置が機能していない水準になっていることにつき、違和感を表明します。国民負担が過度に増加することを避けるためにも、是正に向けた早急な検討を望みます。

2020年9月17日の制度設計作業部会において、来年度実施予定のオークションに向け、逆数入札と経過措置の在り方について検討がなされるとされていますが、検討の結果、2024年度の約定結果が合理的でないと考えられる場合は、2024年度の約定結果も見直す、または経過措置に類する効力が発揮される措置を検討すべきと考えます。

また、目標調達量が落札結果に与える影響が非常に大きいことが今回の結果で顕在化したものと思料します。現在、①偶発的・持続的需要変動や②気象・低頻度リスクを考慮しH3需要の113%となっておりますが、これら不確定の要素をすべて織り込んだ容量価値を実需給の3年以上前に確保することは、上記影響とのバランスを考慮すると再考すべき余地があると考えます。

2. 上記 1. の検討にあたり、本容量価値の導入に伴い、電源のリプレイスに抑制がかからないような制度検討を希望します。

結果的に、経過措置対象電源の維持管理コストを見る水準で全電源の容量価値が決まったことで、投資回収済の老朽石炭火力を例としたリプレイスすべき電源を市場から追い出す動きに抑制がかかることを危惧します。再生可能エネルギー等の、今後主力にしていく電源の価値が適正に評価され、適切に電源のリプレイスがなされていくような形を促す制度検討を希望します。

3. 発電事業者からの固定費の二重取りが行われないような市場醸成を希望します。

既に小売電気事業者は発電事業者との個別契約を伴う電力調達、およびベースロード電源市場からの電力調達に対しては、発電事業者の固定費を負担している状況です。容量市場が実効性を伴うことで、これらの固定費の負担が適切に控除されるように促す制度検討を希望します。

また卸市場においても、制度設計の際には容量メカニズムが価格スパイクを抑制し安定化につながることを期待されてきました。この効果についても、容量提供事業者のアセスメントと関連付けて継続的に検証されることを希望します。

4. 市場支配的事業者である旧一般電気事業者の発電・小売部門間の取引条件、及び小売販売における容量負担金の顧客への確実な転嫁について監視徹底を希望します。

容量価値の導入に伴い、供給力を保持する事業者の市場競争力が強くなる中で、本来論であれば供給力の 8 割以上を支配する旧一般電気事業者の発電部門・小売部門の資本金的分離をして透明性を担保するなどが考えられます。それら対応が難しい中では、供給力を保持しない新電力の価格競争力が、旧一般電気事業者の価格競争力に比して不利にならないように、旧一般電気事業者の発電・小売部門間の取引条件の監視の徹底を希望します。みなし小売事業者を含めた小売電気事業者が容量価値を負担したのちに、電力自由化を行ったことで生み出された競争環境が損なわれることがないように監視・是正措置を徹底するべきと考えます。

以上

(賛同企業) 以下 35 社
株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
株式会社アイキューフォーメーション
アストマックス・トレーディング株式会社
アンビット・エナジー・ジャパン合同会社
アンフィニ株式会社
株式会社ウエスト電力
ENECHANGE 株式会社
株式会社オカモト
香川電力株式会社
川重商事株式会社
九州エナジー株式会社
株式会社サン・ビーム
株式会社サイサン
自然電力株式会社
シン・エナジー株式会社
株式会社新出光
新電力おおいた株式会社
株式会社スマートエナジー
千葉電力株式会社
株式会社中海テレビ放送
銚子電力株式会社
デジタルグリッド株式会社
株式会社ナンワエナジー
ネクストパワーやまと株式会社
株式会社藤田商店
株式会社みらい電力
みんな電力株式会社
株式会社リエゾンエナジー
株式会社リミックスポイント
株式会社L o o o p
ローカルエナジー株式会社
ローカルでんき株式会社
ワタミエナジー株式会社
その他 2 社
(五十音順)